

令和 4 年 7 月 6 日

## 「奥会津スタディツアー」の開催

「地域と共に 21 世紀的課題に立ち向かう福島大学」の教育・研究理念のもと「奥会津スタディツアー」を実施いたします。この活動は、地域実践特修プログラム「みらいバス」の一環とし、人口減少・高齢化が大きな社会的課題となっているなか、これからの中山間地の地域づくり・地域の持続可能性について現地に赴いて学修するスタディツアーです。(福島大学「校友会」支援事業)

### 1. プログラムの紹介

テーマ：人口減少・高齢社会の地域づくりを学修する

日 時： 令和 4 年 8 月 7 日(日)

場 所： 福島県大沼郡昭和村

からむし工芸博物館で学芸員より説明、大芦地区でのからむし引き見学、交流・観光拠点施設「旧喰丸小学校」チャレンジショップ「よいやれ屋」見学、かすみ草・昭和村農林水産物集出荷貯蔵施設（雪室）見学

対 象： 1～4 年生までの全学類生、大学院生、教職員

講 師： 昭和村役場関係者、からむし織り姫(予定)

内 容： 昭和村は、2020 年(令和 2 年国勢調査(総務省統計局))では、高齢化率 55.6%(全国 11 位、福島県内 2 位)で、過疎化・高齢化が深刻な地域です。しかし住民は、地域の産業を発展させ人口が徐々に増え始め、かすみ草の生産(JA 会津よつ葉)は全国の約 14%を生産するに至っています。「からむし織り姫・彦星」も注目されています。現在、人口減少・高齢化に直面しながらも地域づくりに取り組んでいる昭和村でこれからの地域社会のあり方を考えます。

### 2. 取材にあたってのお願い

講師や参加者への質問を行う場合は、企画進行上支障のない範囲でお願いします。

9/30～10/1 には、金山町で只見線再開の支援活動とかすみ草栽培体験を実施する予定です。

(お問い合わせ先)

教育推進機構・特任助教 狩野 剛

電 話：024-504-2872

(携帯:080-1827-2194)

メール：:r530@ipc.fukushima-u.ac.jp